



# みやぎの「イイね」と通信

年1回発行

## 今こそ 地域の輪を！～活気あふれるまちの実現を目指して～



みやぎの区民協議会  
会長 松坂 卓夫

再開発により新たなまちづくりが進んでいる仙台駅東エリア。楽天生命パーク宮城や仙台商みの杜水族館などの大規模集客施設が多く立地するとともに榴岡公園や榴岡天満宮などの歴史的資源にも恵まれている宮城野区。今年度からは、宮城野通が国土交通省の多様なニーズに応える道路空間のあり方に関するケーススタディ地区に選ばれ、キッチンカーの出店などさらなるまちの活性化のために様々な取り組みが検討・実施されています。

昨年度から新型コロナウイルスの影響により多くの活動が制限される状況が続いています。私達は皆様と力を合わせながら、コロナ禍にあっても「できること」を

模索し続け、活気あふれるまちづくりに全力で取り組みたいと思います。

みやぎの区民協議会は、「区民一人ひとりの創意と参加により、やすらぎと希望をともに感じることのできる宮城野区をつくること」を目的に平成5年に発足しました。商工・農業・福祉・文化・スポーツなど区内の様々な団体で構成され、現在98団体が登録されています。

今後も引き続き、各団体からの意見を活かした幅広い視野でのまちづくり活動に取り組むとともに、区民の皆様の積極的なご参加・ご協力をいただけるようより一層の努力をしておりますのでよろしくお願い申し上げます。

### ～震災から10年 新浜地区の今～

## トピックス 海辺の魅力再発見

遠藤 源一郎

東日本大震災後に市役所を退職し専業農家になりました。新浜の自宅は津波で流されましたが再建しました。最初の年はもっぱら田んぼの瓦礫拾いでした。翌年から米作りを始めました。震災の時は八木山動物公園に勤務していて、宮城教育大学と一緒に震災でなくなった沿岸部のメダカの復活に取り組んでいましたが、昔のように田んぼの中で地元のメダカを増やせないかと考えました。そのためには無農薬で稲を栽培する必要があるため栃木県の民間稲作研究所に研修に行きました。田植の後、仲間の立ち会いでメダカを田んぼに放しました。稲の生育とともにメダカも増えて、稲刈り前にメダカを回収して家の前の池に入れました。収穫した米は、メダカと一緒に育てた仙台メダカ米として販売しています。

や稲刈り体験、生きもの観察会なども開催しています。

新浜は大震災で大きな被害を受けましたが現地再建していません。新浜町内会では居住者や訪れる人を増やそうと東北学院大学の協力をいただき「新浜の自然と歴史の学習会」を開催してきました。その中で、沿岸に貴重な自然が復活し、江戸時代前期から続く集落の歴史があることが分かりました。町内会では、自然と暮らしを体験しながら歩くフットパスを、「みんなの家」を中心に開催しています。

沿岸部には、明治五年にできた貞山運河(新堀)があります。貞山運河倶楽部の仲間と一緒に運河で和舟やカヌーに乗る舟遊びを開催してきました。また、運河界隈を文化芸術の創造空間にしたいと貞山運河の文化祭を開催したり、周辺の農園をめぐる小屋アートフェスティバルを企画しています。

仙台市の海辺が世界に誇れる魅力的なゾーンになることを願っています。



### ♪～みやぎの区民協議会新理事を紹介します～♪

新理事：菅野 幸博 (仙台駅東まちづくり協議会 事務局長)

※令和3年度みやぎの区民活動表彰を受賞されました※



仙台駅東エリアを中心に、日常的な賑わい創出のための先進的な取り組みを行っています。その他に、夏まつり仙台すずめ踊り実行委員会や榴岡公園お花見協賛会でも最前線でご活躍されています。

新理事：田中 勢子 (わしん倶楽部 代表)

※令和2年度みやぎの区民活動表彰を受賞されました※

「楽しく学べる防災・減災教育」をモットーに、啓発活動を行っています。子どもから大人まで楽しく防災や減災を学べるゲームを通じて、顔の見える地域づくりに貢献されています。



### みやぎの★まちづくりnews

～仙台駅東まちづくり協議会による榴岡公園及び宮城野通での社会実験の実施について～

仙台駅東まちづくり協議会は、今年度、仙台市と連携し、榴岡公園において「新たな賑わいの創出とサービスの向上を図る社会実験(キッチンカー、バーベキュー、遊具レンタル、フィットネス教室、ドッグラン等)」を実施しています。

また、仙台駅東口から楽天生命パーク宮城等へつながる宮城野通では、キッチンカーや様々なモビリティ等が同時に混在したときの安全性や利便性等を検証する社会実験も実施しています。



左：宮城野通での社会実験(キッチンカー、モビリティ等)

※キッチンカーは、令和3年8月2日から11月30日まで

右：榴岡公園での社会実験(イメージパース)

※令和3年9月頃から令和4年3月末まで

## 協賛いただいた企業等御芳名 令和2年度 敬称略・五十音順

区民協議会の事業実施のために活用させていただきました。

Sai 株式会社 斎テント

松栄不動産株式会社  
Shoel Real Estate co., LTD

仙台市宮城野区連合町内会長協議会

SAFETY & ECOLOGY  
株式会社 仙台銘板

株式会社 高工

中城建設株式会社

日誠工業株式会社

株式会社 NIWAYA

青葉緑化工業(株)  
有坂会計(株)  
108企画(株)  
奥山工業(株)  
後藤工業(株)  
伸和興業(株)

仙台アスコン(株)  
仙台いわきライオンズクラブ  
仙台東部改良土センター(株)  
鷹鷲建設(株)  
高橋生花舗(株)  
丹勝

寺沢電設(株)  
東北造園(株)  
東北福祉大学(仙台駅東口キャンパス)  
行方植物園(株)  
原町地区連合町内会  
ミドリ企画(有)

守屋チップ輸送(有)  
ヤカタ造園土木(株)  
ユアテック(株)  
吉田設備工業(株)

IOC(岩切おもしろ倶楽部)  
秋葉造園(株)  
岩切地区町内会連合会  
ウエスト工房(株)  
かとう工業(株)  
加藤紅萩園(有)  
加納工業所(株)  
環境設備工業(株)  
菅野造園(株)  
菊田陶業(株)  
共同防災設備(有)  
旭日電気工業(株)仙台支店  
ケーユーケー(株)  
社会医療法人康陽会中嶋病院

有興洋建設(株)  
サイコー(株)  
幸町学区町内会連合会  
幸町南学区連合町内会(株)  
清水園(株)  
新田学区連合町内会(株)  
新和技研(株)  
仙塩道路興業(株)  
仙台駅東口商工業協同組合  
仙台ガス水道工業(株)  
仙台ガス設備工事(株)  
センダイ技工(株)  
一般社団法人仙台歯科医師会  
仙台市ガス局

社会福祉法人仙台市社会福祉協議会宮城野区事務所  
仙台農業協同組合  
仙台東地区安全運転管理者会  
仙台東地区安全運転管理者事業主会  
仙台東地区防犯協会連合会  
泰誠機械工業(株)  
高砂地区町内会連合会(有)  
高野造園(株)  
タマヤ電気(株)  
ツネマツガス(株)  
燕沢学区町内会連合会  
鶴ヶ谷地区町内会連合会(株)  
テラテック(株)  
東北電子機器(株)

ナンボ産業(株)  
ニーズ仙台支社(株)  
西山学区町内会連合会  
萩野工務店(株)  
長谷川建設(株)  
東仙台学区町内会連合会  
東日本技建(株)  
北菱冷熱(株)  
堀田電業社(株)  
栢江学区町内会連合会(株)  
丸鹿(株)  
みぞい(株)  
特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク(有)  
みやぎ造景

宮城テレビ放送  
宮城野一丁目親和会  
宮城野区民生委員児童委員協議会  
宮城野区レクリエーション協会  
宮城野区老人クラブ連合会  
宮城野地区町内会連合会  
宮城野地区保護司会(株)  
明和(株)  
森のめぐみ工房(株)  
守屋木材(株)  
両金電気工事(株)

みやぎの区民協議会事務局(宮城野区役所まちづくり推進課内)

〒983-8601 仙台市宮城野区五輪2-12-35 Tel 291-2173 Fax 291-2371

名義後援：区民の手作りによるまちづくり活動等に対して名義後援を行います。  
会員登録：会の目的に賛同し、宮城野区を中心として活動する団体の登録を募集しております。

発行/令和3年10月1日 編集/みやぎの区民協議会広報委員会

# 会員活動紹介

## 地域とともに

### 岩切社会学級～漣～

運営委員長 緑上 浩子

社会学級は仙台市の小学校区の一つ、開設されている生涯学習の場です。昭和24年施行の社会教育法に基づいた長い歴史を持つ社会学級の中で、岩切小学校を拠点にして活動しているのが、岩切社会学級～漣～です。

「漣」の由来は、岩切東幼稚園園長をされた故吉岡律子先生の教えです。大人の学びは大きな波のようにざぶんと砕けてしまうのではなく、小さな波を絶え間なく静かに、何度でも繰り返して伝えていくものであってほしい。漣(さざなみ)のように、一人ひとりの学びが、つながり伝えることで大きな力になることを教えていただきました。

学級生同士、そして地域とのつながりを大切にきてきた私たちに、新型コロナウイルス感染症防止措置は大きな影響を与えました。相澤校長先生は社会学級の担当主事として、安全の確保を第一にしながら学びの継続を支援してくださいました。

その成果として  
 ①未就学児親子向け「楽しいおうち時間」  
 ②子育て情報リーフレット「IKONET」  
 ③小・中保護者や関係機関のコロナ対応を記録した『はじめましてのコロナ時代』を発行、配布しました。直接触れ合うことができなくとも、誰かの為にできることがありました。マスク不足の折りには小学校に寄付したことも社会学級らしい取り組みでした。

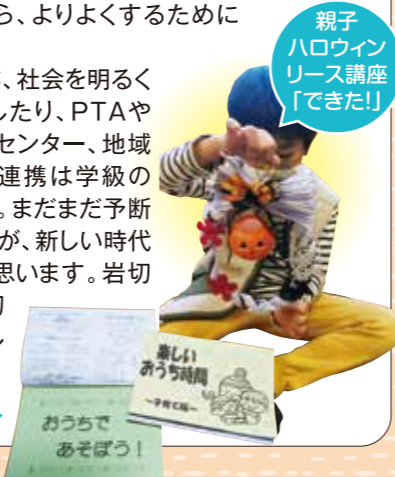


その他にソーシャルディスタンスを保ち、感染予防を徹底させて行った免疫力アップ講座、世界を知るSDGs講演会、試食なしの食育教室、ほっと一息つきたい時の手芸講座等、今だからこそ活動を展開した1年間でした。

現在20代から60代までの学級生が所属しています。親子で同じ学級生、という人もいてお互いに家族のような付き合いです。この仲間がいる地域だから、よりよくするために自然に協力し合えます。

町内会行事、健全育成事業、社会を明るくする運動、福祉事業に参加したり、PTAや児童館、市民センター、保健センター、地域包括支援センターさんとの連携は学級の運営に欠かせないものです。まだまだ予算を許さない状況ではありますが、新しい時代への挑戦を続けていきたいと思ひます。岩切という地域とともにある岩切社会学級～漣～を、どうぞよろしくお願ひいたします。

コロナ禍に生まれた冊子▶



親子ハロウィンリース講座「できた!」

# 活動報告

## みやぎの塾Ⅱ

宮城野区のまちづくりの新たな担い手の育成を目的に令和元年8月からスタートした「みやぎの塾Ⅱ」は、令和3年3月に行われた終講式をもって、24人の塾生の活動が終了しました。

2年目となった令和2年度は、新型コロナウイルスの影響によりオンラインでのセミナーが中心となりましたが、終講式では限られた時間の中で塾生同士が話し合ってきた「宮城野区の魅力をどの様にして伝えていくか」をチームごとに発表し、塾でのお互いの成長を確認しました。

塾生の皆さんには、塾で学んだ成果や新たに生まれた人と人の繋がりを大切にしながら、それぞれのフィールドで今後ますます活躍されることを期待しております。



## 第12回みやぎの大縁会

区民のご縁づくりを目的に懇談する「みやぎの大縁会」。令和元年度は新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、昨年度は感染防止対策をしっかりと行い、2年ぶりに開催することができました。

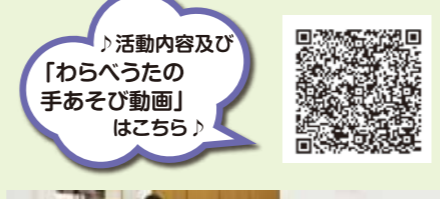
12回目となった今回は、わしん倶楽部の田中勢子氏とせんだい女性防災リーダーネットワーク宮城野の皆さんにご協力いただき「3.11から10年。"もしも"の時も"いつも"のように」をテーマに、緊急時に二者択一の判断を迫られたときのイエス、ノーをカードで答える「クロスロードゲーム」を通して、もしもの時の想像力の引き出しを増やしながら、災害に対する備えを学びました。



## 地域はっぴい子育てプロジェクト

市内でも出生率が高く、子育て世帯の転入者も多い宮城野区。本協議会に設置された子育て支援部会では、例年開催していた「ママらいふ手帳活用講座」が新型コロナウイルスの影響により中止せざるを得なかったため、ママらいふ手帳に掲載されている手あそびの動画を作成するなどwebでの情報発信に力を入れて取り組みました。

また、感染対策を徹底した上で講座開催を希望していた児童館職員を対象に手帳を活用したワークショップを実施しました。「ママらいふ手帳活用講座」は、育児不安を抱えた乳幼児の親に非常に好評をいただいていたので、今後も続けていくために、開催方法等を検討していきたいです。



▶活動内容及び「わらべうたの手あそび動画」はこちら▶

## 楽しく学ぶ防災・減災で地域交流を!

せんだい女性防災リーダーネットワーク宮城野

代表 大内 幸子

東日本大震災から10年が経ちました。震災後に「女性のための防災リーダー養成講座」があり、その後修了生有志で各区ごとに女性防災リーダーネットワークを立ち上げました。

町内会役員・学校支援関係者・民生委員・防災士・市職員等が在籍し、そのほとんどが、仙台市独自の講習カリキュラムで養成した仙台市地域防災リーダー(SBL)のメンバーでもあります。私達宮城野は13名からなります。

毎月1度の定例会は「防災カフェ」の様にお菓子を持ち寄り情報交換や勉強会として楽しく学んでいます。年2回のイベントを通じ老若男女や多様な人々との交流を図り、地域に根差した活動を平成26年から始めています。

「みやぎの防災・減災ひろば」では防災ゲームや防災カルタ、火を使わないで作る「サバ飯(防災食)」を来場者の方に試食して頂いたり、災害時に役に立つ「防災カラフル・ランタン」を親子で作成するなど、いろいろな切り口から楽しく防災を学ぶ講座やワークショップを開催しています。

また、昨今の台風や豪雨災害に備え、事前の準備品や自分自身や家族の避難行動を取りまとめておく防災・減災講座「マイタイムライン」を11月に開催します。

コロナ禍の中でも自然災害が全国で起きています。知恵を絞り、工夫しながら活動を進めていきたいとの思いと、女性ならではの視点とリーダーシップを活かしながら地域防災力を高めるさまざまな活動で、地域に貢献して参りたいと思っております。



▲みみサボみやぎさんとワークショップ

▲防災カラフル・ランタン

▲サバ飯作り

## 第21回みやぎの区民活動表彰式

区内でまちづくりに関わる活動を継続的に実践され、その成果が顕著である方に贈られる区民活動表彰。第21回を迎える今回は、40代から90代までの幅広い世代において、防災・防犯・環境美化をはじめ、高齢者の生きがいづくりやスポーツ振興など、さまざまな分野で活躍されている個人13名と2団体が受賞されました。

今年は前年度に続き、例年表彰式と同日開催の納涼名刺交換会が新型コロナウイルスの影響で中止となったため、受賞者だけをお招きして宮城野区役所6階ホールにて表彰式のみを執り行いました。

当日は、12名の受賞者の方が出席され、表彰後にみやぎの区民協議会会長、活動表彰の選考委員長、区長、副区長等を交え、受賞者による活動内容紹介の時間が設けられました。



個人の部 相原亀元 / 秋山圭二 / 阿部司 / 石森良子  
 神崎榮藏 / 菅野幸博 / 木村トミ子  
 小岩起夫 / 佐藤千恵子 / 千葉しづ子  
 豊嶋正江 / 藤野美喜子 / 嶺岸進

団体の部 いわきり防災エンバワメント  
 原町小学校柿の木応援団

活動内容紹介では、受賞者の皆さまそれぞれの活動に対する熱い思いや使命感に直接触れ、地域への愛着心を強く感じました。表彰式に出席できなかった受賞者の方々も同じような思いで長きにわたり活動を続けて来られたことと思います。このように地域課題にひたむきに取り組む皆さまの存在が住みよいまちづくりの実現に大きく貢献していると改めて実感することができました。

今年も昨年から新型コロナウイルスの影響

で、多くの活動が休止や延期せざるを得ない状況が続いています。これから先、新しい生活様式へと切り替わっていく中においても、新たな人と人の「つながり方」を模索し、安全安心で住みよいまちを創り上げていかなければなりません。

来年の活動表彰はこのコロナ禍が収束し、以前のような広い会場で多くの皆さまに祝福されることを心より願っております。

(令和3年7月8日)



## 一令和3年度一 みやぎの区民協議会事業のこれまでとこれから

令和3年度に予定していた事業のほとんどは新型コロナウイルスの影響で中止となっています。5月開催予定だった区民協議会理事会及び総会は書面決議となりました。例年、7月開催の「宮城野区納涼名刺交換会」と10月開催の「みやぎの・まつり」も中止が決定しましたが、代替企画の検討が行われています。

今後とも思うように活動できない状況が続くと思いますが、引き続き「できること」を検討・実施しながら、コロナウイルスとの共存という新しい時代に入っても、みやぎの区民協議会は「できること」を模索し活動してまいりますので、引き続き皆さまのお力添えをお願い申し上げます。